

社会科シラバス（第1学年）

● 指導の方針

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・授業プリントを活用し、基礎学力の定着を目指します。
- ・毎時間の授業の導入に前時の復習（反復学習）を実施します。

○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・「単元を貫く課題」を設定し、計画的に生徒が主体となる活動を設けます。
- ・2～4人のグループ活動を取り入れ、話し合いを行います。

○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

- ・問題集やノートを定期的に評価し、学習習慣の定着を図ります。
- ・デジタル教科書を使用し、関心意欲や資料活用能力の向上を図ります。
- ・埼玉県や上尾市の身近な地域の資料や課題を積極的に活用します。

● 評価の観点と評価規準 ※各観点の達成状況 A85%以上 B50%以上 C50%未満

評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
評価規準	社会的事象に対する関心を高めそれを主体的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚を持って責任を果たそうとしている。	社会的事象から課題を見だし社会的事象の意義や役割、相互の関連を多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断し、適切に表現している。	統計や新聞、映像など社会的事象に関する資料を収集し、情報を適切に選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。現代社会の見方や考え方の基礎、社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、その意義や役割、相互の関連などを理解し、知識を身につけている。
評価方法	①授業中の観察 ②忘れ物 ③発言 ④提出物	①授業中の観察 ②発言・発表 ③ワークシート	①授業中の観察 ②ワークシート ③定期テスト

評価と評定の関連

※評定（5段階）は、各観点の評価（A^{マル}O=5点、A=4点、B=3点、C^{マル}O=2点、C=1点）をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表（例）のとおりです。

各観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	評定
A ^{マル} O A ^{マル} O A ^{マル} O	15点	A ^{マル} O A ^{マル} O A	14点			5
A ^{マル} O A A	13点	A A A	12点	A ^{マル} O B B	11点	4
A B B	10点	B B B	9点	B B C ^{マル} O	8点	3
B C ^{マル} O C ^{マル} O	7点	C ^{マル} O C ^{マル} O C ^{マル} O	6点	C ^{マル} O C ^{マル} O C	5点	2
C ^{マル} O C C	4点	C C C	3点			1

学習内容と評価のめあて

月	学習内容	指導のめあて
4	第1章 世界の姿	○ 世界を構成する大陸と海洋の分布、緯度と経度による位置関係、世界の地域区分を教科書、地球儀、地図帳を見ながら理解できるようにする。世界の国々の国名と位置を理解させる。
5	第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界各地の人々の生活と環境	○ 世界各地の人々の生活と環境の多様性について自然的条件、社会的条件等を関連づけながら考える力を培う。また、自分たちの生活と比較し、異なる文化の存在を尊重する態度を身につけさせる。
6	第2章 世界の諸地域 1節 アジア州	○ 日常よく見かけるアジア製品などから、自分たちの生活との関連や、アジア州の経済が成長してきた理由について、主題図やグラフ、写真、その他の資料をもとに考察できる力を培う。
7	2節 ヨーロッパ州	○ ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの課題を設定し追究しながら理解させる。また、ヨーロッパ州の国家間の統合が進められてきた理由や統合が可能となった理由について理解させる。
9	3節 アフリカ州	○ アフリカ州の農業、鉱工業の特色や問題点について理解できるようにする。カカオやレアメタルの生産など日本との関わりについても関心を持たせる。
10	4節 北アメリカ州	○ アメリカ合衆国の農業や工業の特色について主題図や写真等の資料から考察できるようにする。日本にも広がっているショッピングセンターやファーストフード、身の回りの輸入品から関心を持たせる。
	5節 南アメリカ州	○ 南アメリカ州の開発の進展と環境問題について考え、日本の環境問題とも関連づけながら自分に何ができるのか、考える力を身につけさせる。
	6節 オセアニア州	○ 日本との関わりが深いオーストラリアなどのオセアニア州の国々に関心を持ち、貿易や日本との結びつきについて考察させる。

5	第2章 日本の姿	○ 日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観させ、理解させる。
11	第1章 歴史へのとびら	○ 年代の表し方や時代区分の意味や意義について基本的な内容を理解させる。
	第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり	○ 古代文明の特色や宗教のおこりを理解させる。
	2節 日本列島の誕生と大陸との交流	○ 日本列島における人々の生活の変化について理解できる。弥生文化や邪馬台国について国家が形成されていく過程を理解させる。
	3節 古代国家の歩みと東アジア世界	○ 聖徳太子の政治や大化の改新を経て確立した律令国家の特色について理解させる。天皇・貴族の政治の展開についてさまざまな資料を活用し古代の文化の特色を理解させる。
2	第3章 中世の日本 第1節 武士の政権と成立	○ 鎌倉幕府を中心とした武家政権の成立と武家社会の発展、民衆の成長を東アジア世界とも関連づけながら理解させる。
3	2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	○ 鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と、社会の変化、室町文化を主題図や写真、その他様々な資料から考察させる。